

AWS 決定ガイド

AWS 移行サービスとツールの選択



AWS 移行サービスとツールの選択: AWS 決定ガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon のものではない製品またはサービスと関連付けてはならず、また、お客様に混乱を招くような形や Amazon の信用を傷つけたり失わせたりする形で使用することはできません。Amazon が所有しない商標はすべてそれぞれの所有者に所属します。所有者は必ずしも Amazon と提携していたり、関連しているわけではありません。また、Amazon 後援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

決定ガイド	i
序章	1
を理解する	2
考慮する	4
選択	9
使用アイテム	10
Explore	18
ドキュメント履歴	19
.....	xx

AWS 移行サービスとツールの選択

最初のステップを実行する

目的	どの AWS 移行および移管サービスが組織に最適かを判断するのに役立ちます。
最終更新日	2023 年 12 月 29 日
対象サービス	• AWS Application Discovery Service • AWS Application Migration Service • AWS Database Migration Service • AWS DataSync • AWS Direct Connect • AWS 移行評価者 • AWS Migration Hub • Amazon S3 Transfer Acceleration • AWS Schema Conversion Tool • AWS Snow Family • AWS Storage Gateway • AWS Transfer Family

序章

アマゾン ウェブ サービス (AWS) クラウドへの移行とモダナイゼーションには、組織のデジタルインフラストラクチャ、アプリケーション、データを再配置するプロセスが含まれます AWS。この移行により、アプリケーションをモダナイズするだけでなく、 が提供するスケーラブルで安全なクラウドサービスとインフラストラクチャの範囲を使用して AWS、物理ハードウェアへの依存を減らし、リソース割り当てを最適化できます。

移行プロセスは通常、既存の IT アセットと要件の包括的な評価から始まり、次に最適な移行を確実にするための戦略的計画とアーキテクチャ設計が続きます。これには、アプリケーションのリホスト、再プラットフォーム、または最適な使用のための再設計が含まれる場合があります AWS のサービス。

移行計画を立てると、データは に転送され AWS、アプリケーションはクラウド環境にデプロイされます。移行後、継続的な管理、モニタリング、最適化は、メリットを最大化するために不可欠です。

AWS は、lift-and-shift、リプラットフォーム、リファクタリングなどの多様な移行戦略に対応して、このプロセスに役立つさまざまなツール、リソース、サポートを提供します。このガイドは、移行を実行するための適切なツールとサービスを選択するのに役立つように設計されています。

[移行とモダナイゼーションに関する re:Invent 2023 プレゼンテーションの 4 分間の動画クリップ。](#)

を理解する

アプリケーションとデータをオンプレミスインフラストラクチャから に移行するには、重要なフェーズを通じて戦略的に進める AWS 必要があります。

評価と動員のフェーズから始まり、[クラウドに移行するためのビジネスケースを構築します。](#)

MIGRATE AND TRANSFER DATA TO AND FROM AWS

Streamline data and application migrations

AWS provides a range of data migration services matched to your migration needs

							
AWS Migration Evaluator	AWS Migration Hub	AWS Application Migration Service	AWS Database Migration Service	AWS DataSync	AWS Transfer Family	AWS Storage Gateway	AWS Snow Family
Migration assessment service that helps you create a directional business case for AWS cloud planning and migration.	Provides a single place to discover your existing servers, plan migrations, and track the status of each application migration.	Simplifies, expedites, and automates large-scale migrations from physical, virtual, and cloud-based infrastructure to AWS.	Migrates data to and from most of the widely used commercial and open source databases.	Transfers datasets between on-premises, edge, or other cloud storage and AWS storage services, as well as between AWS storage services.	Securely transfers files into and out of AWS storage services.	Provides hybrid cloud storage for on-premises access to virtually unlimited cloud storage.	Provides offline transfer of large amounts of data into and out of AWS, regardless of network connectivity.

評価では、現在のオンプレミスフットプリントのスナップショットを作成し、ライセンスの微調整、サーバーとアプリケーションの依存関係の表示、移行とモダナイゼーションのシナリオに関する推奨事項の提供を行います。

動員フェーズでは、インフラストラクチャの選択を最適化し、ランディングゾーンを作成し、チーム内でクラウドのベストプラクティスを確立して移行を開始するための戦略を構築します。

これらの各フェーズの詳細については、以下を参照してください。

評価と動員

オンプレミスワークロードを に移行する第 1 フェーズ AWS では、既存のインフラストラクチャを評価し、特定の要件を理解します。などのツールを使用して[AWS Migration Hub](#)、アプリケーショ

ンと依存関係のインベントリを作成したり、無料の[移行評価](#)をリクエストしてビジネスケースを構築したりできます。この最初のステップは、包括的な移行戦略を策定するために不可欠です。[AWS Migration Acceleration Program \(MAP\)](#) は、このような戦略の開発にも役立ちます。

アプリケーションとデータベースの移行

このフェーズでは、アプリケーションとデータベースが に移行され AWS、移行戦略が実行されます。は、大規模なアプリケーション移行には Application Migration Service、データベースのシームレスな移行には [AWS Database Migration Service \(AWS DMS\)](#) などのサービス AWS を提供します。AWS Migration Hub は、戦略とサービスを推奨し、進行状況を追跡するための中央ツールとして使用されます。組織は、クラウドで最適なパフォーマンスを得るために、アプリケーションのリホスト (lift-and-shift) または再設計を選択する場合があります。[AWS Serverless Application Model \(AWS SAM\)](#) はサーバーレスアプリケーションの構築に役立ちます。

ハイブリッドクラウドストレージ

移行をスムーズにするために、移行中にハイブリッドクラウドストレージアプローチを採用することもできます。[AWS Storage Gateway](#) を使用すると、オンプレミス環境とクラウドストレージの統合が可能になり、統一されたデータ管理戦略が可能になります。このハイブリッドモデルは、データのアクセシビリティと可用性を提供し、移行プロセス中の中断を最小限に抑えるように設計されています。

オンラインデータ転送

継続的なオペレーションでは、オンラインデータ転送メカニズムが重要な役割を果たします。例えば[AWS DataSync](#)、を使用すると、オンプレミス環境と AWS ストレージサービス間で大規模なデータセットを効率的かつ安全に転送できます。これにより、ダウンタイムが最小限に抑えられ、移行全体でデータの整合性が維持されます。

オフラインデータ転送

大量のデータを転送する必要がある場合は、オフラインメソッドが最適な方法です。[AWS Snowball](#) デバイスはこの種のシナリオ向けに設計されています。これにより、テラバイトからペタバイトのデータへの物理的な転送を安全に行い、帯域幅の制限を軽減し、広範なデータセットの移行を加速できます。

これらのフェーズを進めることで、継続的な事業運営の中断を最小限に抑えながら AWS、提供するスケーラビリティ、セキュリティ、サービスの利点を実現し、最大限に活用できます。

考慮する

への移行と への移行の分野では AWS、組織は戦略的に設計されたさまざまな課題や懸念に直面し AWS のサービス ています。以下では、タイムリーで安全で費用対効果の高い移行先として考慮すべき基準について説明します AWS。

Diverse migration scenarios

オンプレミスワークロードを に移行するには、主に組織が遭遇する多様な移行シナリオが原因で、微妙なアプローチ AWS が必要です。これらのシナリオは、既存のアプリケーションが最小限の変更で移動される単純なlift-and-shift移行から、 のアプリケーションの最適化を含むより複雑な再プラットフォームまたは再設計まで多岐にわたります AWS のサービス。ハイブリッドクラウドデプロイはもう 1 つの一般的なシナリオであり、組織は AWS 機能を活用しながらオンプレミスインフラストラクチャを維持できます。

さらに、オンラインとオフラインのデータ転送方法の選択は、データ量とネットワークの制約によって異なります。組織は、ダウンタイム耐性、コスト効率、データ整合性などの要素のバランスを取りながら、特定のニーズを評価する必要があります。データの機密性、コンプライアンス要件、業界規制も移行戦略に影響します。

AWS は、この多様性に対処するためのツールとサービススイートを提供し、組織は独自の状況に最適な移行アプローチを柔軟に選択できます。これらの多様なシナリオを効果的にナビゲートすることで、 への移行が成功し AWS、組織の目標と制約に沿ってクラウドコンピューティングの可能性を最大限に引き出すことができます。

Minimizing downtime

ダウンタイムを最小限に抑えることは、オンプレミスのワークロードを に移行する上で重要な考慮事項です。これは AWS、事業運営が中断されると、財務上および運用上の大きな障害が発生する可能性があるためです。これを実現するために、組織はいくつかの戦略を採用しています。

まず、多くの場合、lift-and-shift方式などの段階的な移行アプローチを選択し、既存のワークロードを最小限の変更 AWS で に移行します。これにより、ダウンタイムは最小限に抑えられますが、AWS 機能を十分に活用できない場合があります。

次に、ハイブリッドクラウドソリューションを実装することで、移行中のビジネス継続性を維持できます。重要でないワークロードを に移行しながら重要なコンポーネントをオンプレミスに維持することで AWS、企業はダウンタイムリスクを軽減できます。

さらに、AWS DataSync や などのツール AWS を提供し AWS Snowball 、効率的なデータ転送を容易にして、移行中のデータ転送にかかる時間を短縮し、ダウンタイムを最小限に抑えます。

最後に、移行計画の徹底的なテストと検証は、本番稼働用システムに影響を与える前に潜在的な問題を特定し、中断を最小限に抑えながら移行をスムーズに行うために不可欠です。全体として、ダウンタイムの最小化は への移行プロセスの最優先事項であり AWS、企業は移行ジャーニーを通じて運用効率を維持できます。

Large data transfer challenges

大規模なデータ転送は、オンプレミスのワークロードを に移行する上で大きな課題となります AWS。大規模なデータセットを処理する場合、帯域幅の制限と時間的制約が大きな懸念事項になります。AWS は、これらの課題に対処するためのソリューションを提供します。

オンラインデータ転送の場合、 などのサービスは、データ転送速度を最大化するために最適化されたプロトコル AWS DataSync を採用しているため、データをクラウドに移動するのに必要な時間を短縮できます。ただし、帯域幅が限られている非常に大規模なデータセットや環境では、この方法が不十分である可能性があります。

このような場合、AWS Snowball Edge や などのオフラインのデータ転送方法は AWS Snowball 非常に重要です。これらの物理デバイスにより、組織はテラバイトをエクサバイトのデータに安全に転送できます。これらは組織に配送され、データが組織にロードされ、取り込み AWS のために に返され、帯域幅の制約を克服します。

これらのデータ転送オプションを戦略的に組み合わせることで、組織は大量のデータを に効率的に移行 AWS しながら、事業運営の中断を最小限に抑え、データの整合性を確保できます。

Database compatibility and heterogeneity

データベースの互換性と異質性は、オンプレミスワークロードの への移行中に大きな課題をもたらします AWS。多くの場合、組織はさまざまなデータベース管理システムに依存しており、 とのシームレスな互換性を確保 AWS のサービス することが重要です。

AWS には、これらの複雑さに対処するための AWS Database Migration Service (DMS) や AWS Schema Conversion Tool (SCT) などのツールが用意されています。DMS は、さまざまなデータベースの への移行をサポートし AWS、ダウンタイムを最小限に抑えながらデータレプリケーションを容易にします。SCT はデータベーススキーマの変換に役立ち、構造や動作が異なるデータベース AWS サービスとの互換性を確保します。

さらに、 は、一般的なデータベースエンジンと互換性のある Amazon RDS や Amazon Aurora などのマネージドデータベースサービス AWS を提供し、移行プロセスを簡素化します。

ただし、組織はデータベースの状況を慎重に評価し、潜在的な非互換性を計画し、移行中にデータの整合性と機能を維持するために適切な AWS データベースサービスまたは変換アプローチを選択する必要があります。

File transfer workloads

オンプレミス環境から ファイル転送ワークロードを移行するには、シームレスなデータ移動と運用の継続性を確保するための慎重な計画 AWS が必要です。ファイル転送ワークロードには、多くの場合、大量の重要なデータが含まれるため、適切に実行された戦略が必要です。

AWS は AWS Transfer Family、AWS Transfer for SFTP や などのサービスを提供し AWS Transfer for FTPS、組織がクラウドでファイル転送ワークロードを安全に移行および管理できるようにします。これらのサービスは、既存のファイル転送プロトコルとの互換性を提供し、移行の複雑さを軽減します。

組織は、効率的で高速なデータ転送 AWS DataSync のために を活用することもできます。オンプレミスのファイルシステムを AWS ストレージサービスと同期し、ダウンタイムを最小限に抑え、データ整合性を確保するのに役立ちます。

さらに、移行中にファイル転送パフォーマンスを維持するには、ネットワーク接続と帯域幅の最適化が不可欠です。AWS Direct Connect および AWS VPN ソリューションは、オンプレミス環境間の信頼性の高い接続を確立し AWS、レイテンシーと帯域幅の制限に関連する潜在的な課題に対処するのに役立ちます。

つまり、適切に構造化された計画、適切な計画 AWS のサービス、ネットワーク最適化への注力は、ファイル転送ワークロードを にスムーズに移行し、データの整合性を維持し AWS、中断を最小限に抑えるための重要な考慮事項です。

Visibility and monitoring

オンプレミスワークロードを にスムーズに移行するには、移行中に可視性とモニタリングが不可欠です AWS。AWS Migration Hub は、移行ジャーニーを追跡および管理するための一元化されたプラットフォームを提供することで、この点で重要な役割を果たします。

このツールは、移行プロジェクトの進捗状況に関するリアルタイムのインサイトを組織に提供し、ボトルネックや問題を迅速に特定できるようにします。移行されたリソースの状態とパフォーマンスを可視化し、アプリケーションをクラウド環境でスムーズに実行できるようにします。

さらに、AWS Identity and Access Management(IAM) および を通じてアクセスコントロールと監査を可視化することで、セキュリティ AWS Migration Hub を強化します AWS CloudTrail。これにより、移行プロセス全体でセキュリティ対策が維持されます。

本質的に、は組織が情報に基づいた意思決定を行い、移行戦略を最適化し、ワークロードの整合性を維持する力 AWS Migration Hub を与えます。可視性とモニタリングの強化におけるその役割は、への移行を成功させ、安全に行う上で役立ちます AWS。

Application capability

アプリケーション、特にレガシーアプリケーションがクラウド環境と互換性があることを確認するのは難しい場合があります。既存のアプリケーションが AWS クラウド 環境内でシームレスに機能するようにすることは、スムーズな移行に不可欠です。これには、多くの場合、や AWS のサービス infrastructure に合わせてアプリケーションを評価し、必要に応じて変更することが含まれます。は、や AWS Application Discovery Service などのツール AWS を提供し AWS Migration Hub 、このプロセスを支援します。

オペレーティングシステム、依存関係、またはネットワーク設定の違いにより、互換性の問題が発生する可能性があります。したがって、移行前に互換性の問題を特定して解決するには、綿密なテストと検証が不可欠です。アプリケーションの互換性に積極的に対処することで、組織は中断を最小限に抑え、ビジネス継続性を維持し、スケーラブルで安全なクラウドインフラストラクチャの利点を最大限に活用できます AWS。

Dependency mapping

オンプレミスワークロードを に移行する上で重要な側面である依存関係マッピングには AWS、アプリケーション間の複雑な関係と相互依存関係の特定が含まれます。これらの接続は複雑で、データフロー、サービスの依存関係、通信パターンが含まれます。

AWS には、このプロセスを支援する AWS Application Migration Service AWS Application Discovery Service や などのツールが用意されています。これらのツールは、依存関係を自動的に検出、マッピング、文書化し、さまざまなコンポーネントがどのように相互作用するかを明確に理解できるようにします。

依存関係を正確にマッピングすることで、組織は移行戦略について情報に基づいた意思決定を行い、関連するすべての要素と一緒に移動して機能を維持できます。これにより、移行後の問題のリスクが軽減され、組織が移行アクティビティの順序付けを計画し、中断とダウンタイムを最小限に抑えることができます。

Performance optimization

オンプレミスワークロードを に移行する場合、パフォーマンスの最適化は重要な考慮事項です AWS。これには、クラウド環境におけるアプリケーションの効率と速度の評価と強化が含まれます。このプロセスは、多くの場合、リソース使用率、レイテンシー、スケーラビリティなど、既存のアプリケーションのパフォーマンス特性の徹底的な分析から始まります。

AWS には、モニタリング用の Amazon CloudWatch、動的リソース割り当て AWS Auto Scaling 用の、トラフィックを分散するための Elastic Load Balancing など、パフォーマンスの最適化に役立つさまざまなツールとサービスが用意されています。さらに、はコスト最適化とパフォーマンス向上に関する推奨事項 AWS Trusted Advisor を提供します。

Security and compliance

オンプレミスワークロードを に移行する場合、セキュリティとコンプライアンスが最優先事項です AWS。組織は、移行中および移行後にデータの整合性、機密性、業界規制への準拠を維持する必要があります。は、組織が強力なセキュリティ体制を確立できるように、AWS Identity and Access Management (IAM)、AWS Key Management Service (AWS KMS) AWS Security Hub、などの堅牢な一連のセキュリティサービス AWS を提供します。

GDPR、HIPAA、PCI DSS などの標準への準拠は、コンプライアンスプログラムや広範なドキュメントを通じて AWS 簡素化されています。はコンプライアンスレポートへのアクセス AWS Artifact を提供し、コンプライアンスのモニタリングと維持 AWS Config に役立ちます。

さらに、は、データへのアクセスと暗号化をきめ細かく制御するための AWS Identity and Access Management (IAM) や AWS Key Management Service (AWS KMS) などのツール AWS を提供します。セキュリティのベストプラクティスを実装し、定期的な監査を実施することは、移行中および移行後にワークロードを保護し、安全で準拠した環境を確保する上で不可欠です AWS。

Testing and validation

移行したアプリケーションが新しいクラウド環境で期待どおりに機能することを検証するには、徹底的なテストが不可欠です。これには、問題や不一致を特定して対処するためのパフォーマンステスト、機能テスト、セキュリティテストが含まれます。

AWS は、クラウドでのアプリケーションのテストとデプロイを自動化するために AWS CodeDeploy、AWS CodeBuild や などのさまざまなツールとサービスを提供します。

包括的なテストと検証は、潜在的なリスクを軽減するだけでなく、移行されたワークロードが期待どおりに動作し、中断を最小限に抑え、移行を確実に成功させます AWS。移行後の定期的なテストと継続的な検証は、変化するビジネスニーズに適応し、最適なパフォーマンスとセキュリティを維持するためにも不可欠です。

Cost management

移行中および移行後のコストを効率的に管理することは、予算上の考慮事項にとって重要です。組織は、コスト効率を最大化するためにクラウド支出を慎重に計画および最適化する必要があります。

ます。は、AWS Cost Explorer や などのツール AWS を提供 AWS Budgets して、支出をモニタリングおよび予測します。

コスト管理には、ワークロードの使用パターンに基づいて、オンデマンド、リザーブドインスタンス、Savings Plans などの適切な AWS 料金モデルの選択が含まれます。リソースのサイズを適正化し、自動スケーリング機能を活用することで、コストを実際の需要に合わせることができ、オーバープロビジョニングを回避できます。

さらに、はコスト最適化に関する推奨事項 AWS Trusted Advisor を提供し、異常な支出パターンを特定 AWS Cost Anomaly Detection できます。

コストをプロアクティブに管理することで、組織は のスケーラビリティと柔軟性の利点を活用し AWS ながら、移行が予算上の制約内に収まるようにし、クラウドへの投資収益率を最適化できます。コスト管理は継続的なプロセスであり、クラウド支出を長期にわたって制御および最適化するには、定期的なモニタリングと調整が不可欠です。

選択

移行で考慮すべき重要な基準を確認したので、移行の計画を開始し、移行を支援する AWS のサービス 適切な を選択する準備 AWS が整いました。

- リソースを効果的に動員するには、既存のインフラストラクチャを評価し、アセットのインベントリを作成する必要があります。
- lift-and-shift戦略、再プラットフォーム (Amazon RDS へのオンプレミスデータベース)、または再設計によるワークロードのモダナイズを選択しますか？
- ハイブリッドモードで運用し、一部のワークロードをオンプレミスのままにしますか？
- データ転送にはどのようなニーズがありますか？

次の表では、移行を成功させるのに役立つ AWS の関連サービスについて説明します。

移行カテゴリ	何に最適化されていますか？	移行サービス
Assess and mobilize	These services are optimized to accelerate decision-making and discover on-premises assets to plan your AWS migration.	「AWS Migration Evaluator」 AWS Migration Hub AWS Application Discovery Service

移行カテゴリ	何に最適化されていますか？	移行サービス
		最適化とライセンスの評価
アプリケーションの移行	これらのサービスは、オンプレミスサーバーとデータベースの への移行を簡素化および迅速化するために最適化されています AWS。	AWS Application Migration Service AWS Database Migration Service AWS Migration Hub AWS Schema Conversion Tool
Hybrid cloud storage	These services are optimized for on-premises applications that require low-latency data access or rapid data transfer to the cloud.	AWS Storage Gateway AWS Direct Connect
オンラインデータ転送	これらのサービスは、オンラインメソッド AWS を介してとの間でデータを簡単かつ簡単に転送できるように最適化されています。	AWS DataSync AWS Transfer Family Amazon S3 Transfer Acceleration
Offline data transfer	These services are optimized for transferring large (petabytes) of data to AWS via offline methods when online methods wouldn't be feasible.	AWS Snowball

使用アイテム

利用可能な移行および移管の各サービスの使用方法 AWS と詳細については、各サービスの仕組みを調べるためのパスが用意されています。以下のセクションでは、詳細なドキュメント、実践的なチュートリアル、開始するためのリソースへのリンクを提供します。

AWS Application Discovery Service

- セットアップ AWS Application Discovery Service

このガイドでは、Application Discovery Service を初めてセットアップする手順について説明します。

[ガイドを読む](#)

- AWS Application Discovery Agent のインストール

このガイドでは、検出と移行の対象となるオンプレミスサーバーと VMs に Application Discovery Agent をインストールする方法について説明します。

[ガイドの使用を開始する](#)

- エージェントレスコレクターの開始方法

このガイドでは、エージェントレスコレクターの使用を開始する方法について説明します。

[ガイドの使用を開始する](#)

AWS Application Migration Service

- の概要 AWS Application Migration Service

この短い動画 (1:35) では、AWS Application Migration Service

[動画を見る](#)

- の開始方法 AWS Application Migration Service

このガイドは、でアプリケーション移行サービスを使用する方法など、アプリケーション移行サービスの使用を開始するのに役立ちます AWS Migration Hub。

[ガイドを見る](#)

- lift-and-shift移行 AWS Application Migration Service に を使用する方法

このブログ記事では、を使用してlift-and-shift移行を簡素化する方法を示します AWS Application Migration Service。

[ブログ記事を読む](#)

- AWS Application Migration Service と Elastic Disaster Recovery のセットアップを自動化する

このブログ記事では、AWS Application Migration Service と AWS Elastic Disaster Recovery サービスを組み合わせ、移行されたワークロードの耐障害性を高める方法について説明します。

[ブログ記事を読む](#)

- AWS Application Migration Service ベストプラクティス

このブログ投稿では、高度に自動化されたlist-and-shiftソリューション を使用して移行を加速し、正常に実装するためのベストプラクティスを紹介します AWS Application Migration Service。

[ブログ記事を読む](#)

AWS Database Migration Service

- の開始方法 AWS Database Migration Service

このガイドでは、を使用してデータベース移行を実行する方法について説明します AWS DMS。

[ガイドを見る](#)

- DMS Schema Conversion の開始方法

このチュートリアルでは、DMS Schema Conversion をセットアップし、移行プロジェクトを作成してデータプロバイダーに接続する方法について説明します。

[ガイドを見る](#)

- データベース移行Step-by-Stepのチュートリアル

このガイドでは、でサポートされている 8 つの異なるソースデータベースのスキーマ変換とデータ移行のプロセスを説明するstep-by-stepのチュートリアルを示します AWS Database Migration Service。

[ガイドを見る](#)

- Oracle から Amazon Aurora に移行する方法

この実践的な演習では、Amazon Aurora を使用してレガシー Oracle データベースをクラウドネイティブデータベースに移行します。

[教訓を開始する](#)

AWS DataSync

- の開始方法 AWS DataSync

このガイドでは、を使用した DataSync の開始方法に焦点を当てています AWS Management Console。

[ガイドを見る](#)

- チュートリアル: 別の でオンプレミスストレージから Amazon S3 にデータを転送する AWS アカウント

このチュートリアルでは、オンプレミスストレージから DataSync エージェントとは異なるアカウントの S3 バケットにデータを に転送する方法について説明します。

[チュートリアルを開始する](#)

- チュートリアル: 別の で Amazon S3 から Amazon S3 にデータを転送する AWS アカウント

このチュートリアルでは、DataSync を使用して、あるアカウントの S3 バケットから別のアカウントの別の S3 バケットにデータを転送する方法について説明します。

[チュートリアルを開始する](#)

AWS Direct Connect

- AWS Direct Connect Resiliency Toolkit を使用して開始する

このガイドでは、Direct Connect Resiliency Toolkit を使用して、SLA 目標を達成するための専用接続の数を決定し、注文する方法について説明します。

[ガイドを読む](#)

- を使用したオンプレミスデータの継続的な移行 AWS Direct Connect

このガイドでは、ハイブリッドクラウドデプロイにおける継続的なデータ移行 AWS Direct Connect の一環として を使用する方法について説明します。

[ガイドを読む](#)

- Direct Connect Gateway の使用

このガイドでは、ゲートウェイを使用してトランジット AWS Direct Connect ゲートウェイまたは仮想プライベートゲートウェイを使用して VPCs を接続する方法について説明します。

[ガイドを読む](#)

AWS Migration Hub

- の開始方法 AWS Migration Hub

このガイドでは、Migration Hub の使用を開始するために必要な情報を提供します。

[ガイドを見る](#)

- Migration Hub でのネットワーク接続の表示

このチュートリアルでは、Migration Hub でネットワーク接続を表示してサーバーの依存関係を視覚化する方法を示します。これらの依存関係を視覚化することで、各アプリケーションを Amazon Web Services に正常に移行するために必要なすべてのリソースを検証できます。

[チュートリアルを開始する](#)

- AWS Migration Hub Strategy Recommendations を使用してモダナイゼーションの非互換性を分析する

このブログ記事では、AWS Migration Hub Strategy Recommendations が環境を分析する方法、分析する側面、生成されたアンチパターンレポートを最大限に活用する方法について詳しく説明します。

[ブログ記事を読む](#)

Migration Evaluator

- 移行評価者の概要

この 30 分間 AWS のスキルビルダーコースでは、移行エバリュエーターの使用方法について説明します。

[トレーニングを受ける](#)

- Migration Evaluator の技術的な概要

このガイドでは、移行工バリュエーターエージェントレスコレクターによって収集されたデータの種類の概要を説明します。

[ガイドを見る](#)

- コレクターのインストールガイド

このガイドは、エージェントレス移行評価者コレクターのインストールを支援するシステム管理者、IT マネージャー、技術スタッフを対象としています。

[ガイドを見る](#)

Amazon S3 Transfer Acceleration

- Amazon S3 Transfer Acceleration の開始方法

このガイドでは、S3 バケットで Transfer Acceleration を有効にし、アクセラレーションが有効なバケットとの間でデータを転送する方法を示します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon S3 Transfer Acceleration 速度比較ツール

このガイドでは、S3 バケットで Transfer Acceleration を有効にし、アクセラレーションが有効なバケットとの間でデータを転送する方法を示します。

[ガイドを見る](#)

- マルチパートアップロードと転送アクセラレーションを使用した Amazon S3 への大きなオブジェクトのアップロード

このツールを使用すると、Amazon S3 Transfer Acceleration を使用するかどうかにかかわらず、さまざまな Amazon S3 リージョンのマルチパートファイルアップロードの速度を比較できます。

[ツールに移動する](#)

AWS Schema Conversion Tool

- の開始方法 AWS Schema Conversion Tool

このガイドでは、ソースデータベースのスキーマを、 がホストするサポートされているデータベースのスキーマに変換する方法を示します AWS。

[ガイドを見る](#)

- のベストプラクティス AWS Schema Conversion Tool

このガイドでは、 を使用するためのベストプラクティスとオプションについて説明します AWS Schema Conversion Tool。

[ガイドを見る](#)

- AWS Schema Conversion Tool CLI を使用してデータベーススキーマとアプリケーション SQL を変換する

この投稿では、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) でホストされている Oracle データベースから Amazon Aurora PostgreSQL-Compatible-Engine エディションへの移行プロセスの一環として、AWS SCT CLI を使用してデータベーススキーマオブジェクトコードとアプリケーション SQL および PL/SQL コードをアプリケーションファイル内の PSQL に変換する方法を示します。

[ブログ記事を読む](#)

AWS Snow Family

- の開始方法 AWS Snowball Edge

このガイドでは、AWS Snow Family マネジメントコンソールで最初の AWS Snowball Edge デバイスジョブを作成して完了する手順について説明します。

[ガイドを見る](#)

- を使用してデータ移行を加速するためのベストプラクティス AWS Snowball Edge

このブログ記事では、 の手法について説明し、1 つ以上の AWS Snowball Edge デバイスを使用してデータ移行を高速化する方法の例を示します。

[ブログ記事を読む](#)

AWS Storage Gateway

- (AWS Storage Gateway Amazon S3 File Gateway) の開始方法

このガイドでは、S3 File Gateway をセットアップし、Storage Gateway を使用してアクセスする手順について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- (AWS Storage Gateway Amazon FSx File Gateway) の開始方法

このガイドでは、FSx File Gateway をセットアップし、Storage Gateway を使用してアクセスする手順について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- Amazon S3 File Gateway による大規模なデータ移行とコスト削減

このブログでは、Amazon S3 File Gateway がメタデータ属性をそのまま維持し、ストレージコストを最適化し、標準の SMB (Server Message Block) および NFS (Network File System) ファイルプロトコルを使用してオンプレミスアプリケーションからクラウド内のデータへのアクセスを提供すると同時に、データをクラウドに移行する方法について説明します。

[ブログ記事を読む](#)

AWS Transfer Family

- とは AWS Transfer Family

このガイドでは、Transfer Family サービスの概要を説明します。

[ガイドを読む](#)

- チュートリアル: AWS Transfer Family サーバーエンドポイントの開始方法

Transfer Family の使用を開始するには、このチュートリアルを使用します。Amazon S3 ストレージを使用してパブリックアクセス可能なエンドポイントを持つ SFTP 対応サーバーを作成し、サービスマネージド認証でユーザーを追加し、Cyberduck でファイルを転送する方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- チュートリアル: ファイルを復号するためのマネージドワークフローの設定

このチュートリアルでは、復号化ステップを含む管理ワークフローを設定する方法を示します。このチュートリアルでは、暗号化されたファイルを Amazon S3 バケットにアップロードし、同じバケット内の復号されたファイルを表示する方法も示しています。

[チュートリアルを始める](#)

Explore

- **アーキテクチャ図**

移行および移行ソリューションの開発に役立つリファレンスアーキテクチャ図をご覧ください
AWS。

[アーキテクチャ図を調べる](#)

- **ホワイトペーパー**

開始方法、ベストプラクティス、移行と移管のオプションを理解するのに役立つホワイトペーパー
をご覧ください。

[ホワイトペーパーを見る](#)

- **動画、パターン、AWS ソリューション、ガイダンス**

移行および移管サービスの一般的なユースケースに関する追加のアーキテクチャガイダンスについて
説明します。

[追加のアセットを調べる](#)

ドキュメント履歴

次の表に、この決定ガイドの重要な変更点を示します。このガイドの更新に関する通知については、RSS フィードをサブスクライブできます。

変更	説明	日付
初版発行	ガイドが最初に公開されました。	2023 年 12 月 29 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。